

ち寄り、大気科学科の柳井勉雄先生にお世話して頂いて、特別セミナーを開かせて頂きました。また Boulder も訪問し、コロラド大学に滞在中だった京都大学超高層電波研究センターの下舞豊志さんに付近を (NCAR も含めて) 一日案内して頂きました。この場をお借りしてお礼を申し上げます。

### 略語一覧

GCM : General Circulation Model  
 HALOE : Halogen Occultation Experiment  
 HRDI : High Resolution Doppler Imager  
 QBO : Quasi-Biennial Oscillation, 準二年振動  
 POAM : Polar Ozone and Aerosol Measurement

PSCs : Polar Stratospheric Clouds, 極域成層圏雲  
 SAO : Semi-Annual Oscillation  
 SVC : SubVisible Cirrus  
 TOTE/VOTE : Tropical Ozone Transport Experiment/Vortex Ozone Transport Experiment  
 UARS : Upper Atmosphere Research Satellite  
 UKMO : United Kingdom Meteorological Office

### 参考文献

神沢 博, 佐藤 薫, 塩谷雅人, 余田成男, 1994 : 第9回中層大気に関する会議の報告, 天気, 41, 765-770.

## 「学位論文紹介」投稿要領の変更について

「天気」編集委員会

1月号の投稿案内でお知らせしたように、今年度から学位論文紹介の投稿の主体を研究室から個人に変え、対象とする掲載論文の年度を広げました。それに伴い、以下のように投稿要領と編集手続きを変更します。なお、研究室代表者（教官に限らない）からの一括投稿もこれまで通り可能です。

1. 対象とする論文は過去3年度の間（今年度の場合、1995年4月1日から1998年3月31日まで）、修士あるいは博士の学位が授与された大気科学に関係する論文とする。外国の大学・大学院から授与されたものも対象に含める。但し、既に「天気」学位論文紹介欄に掲載された論文は除外する。
2. 投稿者は7月31日までに、①大学・大学院名、②研究科名、③博士論文・修士論文の別、④学位授

与の年・月、⑤著者名、⑥論文題目、の6項目を明記の上、「気象学会「天気」編集委員会 学位論文係」宛に郵送する。送り状の添付は不要である。

編集の迅速化・合理化のため、投稿者の連絡先と電話番号以外に、電子メールアドレスまたはFAX番号の記入を希望する。

3. 電子メールまたはFAXを使って、担当編集委員から投稿者に対して原稿受理と記事内容の確認の連絡が送られる。これらの手段が利用できない投稿者には郵便を使う。

なお、投稿後1か月経っても担当編集委員から連絡がない場合は、学会事務局編集書記にお問い合わせ下さい。